

令和5年 五島市観光統計



鏡瀬ビクターセンターリニューアルオープン
(令和5年4月30日(日))



株式会社ゼンリンとの観光DX推進に関する連携協定調印式
(令和5年5月16日(火))

五島市地域振興部文化観光課

令和6年7月

目次

1	観光入込客の概要	- 1 -
2	季節別の観光入込客の状況	- 2 -
3	交通機関別の入込客の状況	- 3 -
4	観光消費額	- 5 -
5	主要観光施設・観光地の状況	- 6 -
6	宿泊客等	- 7 -

1 観光入込客の概要

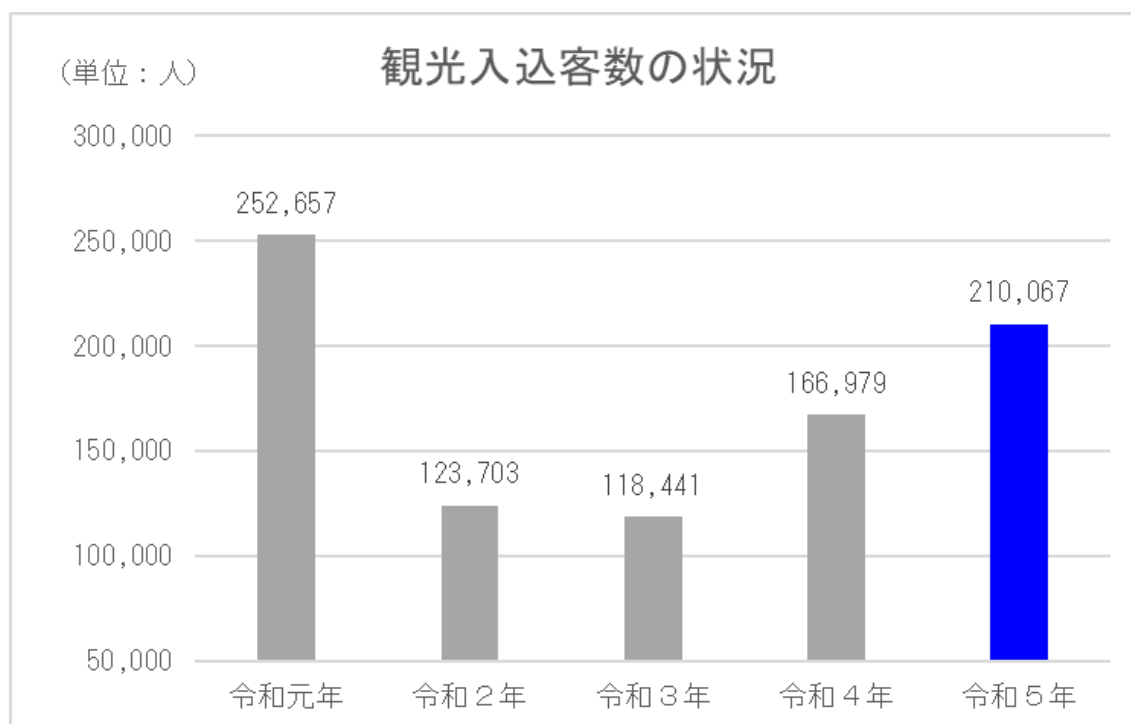
令和5年の1年間に五島市を訪れた観光入込客数は、210,067人（+25.8%）と推計する。

平成30年7月の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録により、その構成資産である「久賀島の集落」と「奈留島の江上集落（江上天主堂とその周辺）」が所在する本市の観光入込客数は、平成30年、令和元年と2年連続して過去最高を記録した。

令和5年は、5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」となったことに加え、NHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」やテレビドラマ「ばらかもん」の放映といったメディア露出による五島市の知名度向上の効果もあり、前年（令和4年）と比べて43,088人の増（+25.8%）となり、過去最高であった令和元年の約83.1%まで、世界文化遺産登録前の平成29年水準まで回復した。

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
観光入込客数 (人)	252,657	123,703	118,441	166,979	210,067

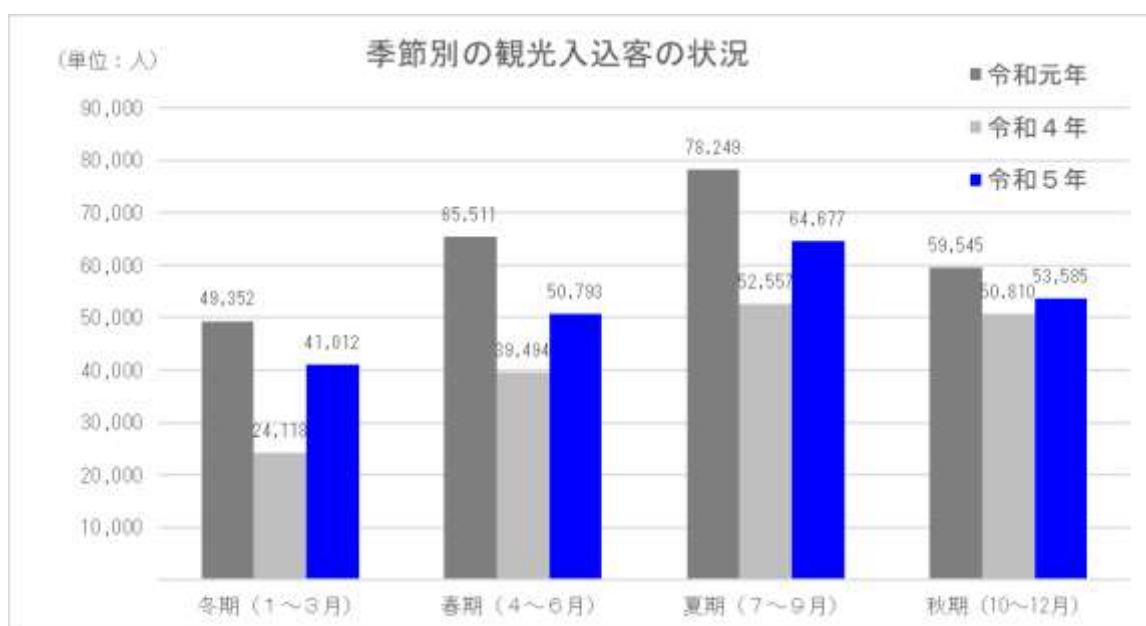
※観光入込客数 = 五島市の港・空港における総降客数（ただし、市内航路分を除く。）
－ うち国境離島島民割引利用者数 － 五島市への転入者数



2 季節別の観光入込客の状況

- ・冬期は2月より新型コロナウイルス感染症の感染段階がレベル1に下がり、旅行がしやすくなったこともあり、前年比16,894人の増(+70.0%)となった。
- ・春期及び夏期は、連続テレビ小説「舞いあがれ！」やテレビドラマ「ばらかもん」放送の効果や、4年ぶりの開催となった「バラモンキング」や「五島列島タヤけマラソン大会」の効果により、春期で前年比11,299人の増(+28.6%)、夏期で前年比12,120人の増(+23.1%)となった。
- ・秋期は、メディア露出による誘客効果は継続したものの、前年に実施した旅行割「今だ！！五島へ行こう旅キャンペーン」効果の反動もあり、前年比2,775人の増(+5.5%)と、他の時期と比較して観光客の増加が低調であった。

季節	観光入込客数(人)			対前年比 (人/%)
	(参考) 令和元年	令和4年	令和5年	
冬期 (1～3月)	49,352	24,118	41,012	+ 16,894 (+70.0)
春期 (4～6月)	65,511	39,494	50,793	+ 11,299 (+28.6)
夏期 (7～9月)	78,249	52,557	64,677	+ 12,120 (+23.1)
秋期 (10～12月)	59,545	50,810	53,585	+ 2,775 (+ 5.5)
合計	252,657	166,979	210,067	+ 43,088 (+25.8)



3 交通機関別の入込客の状況

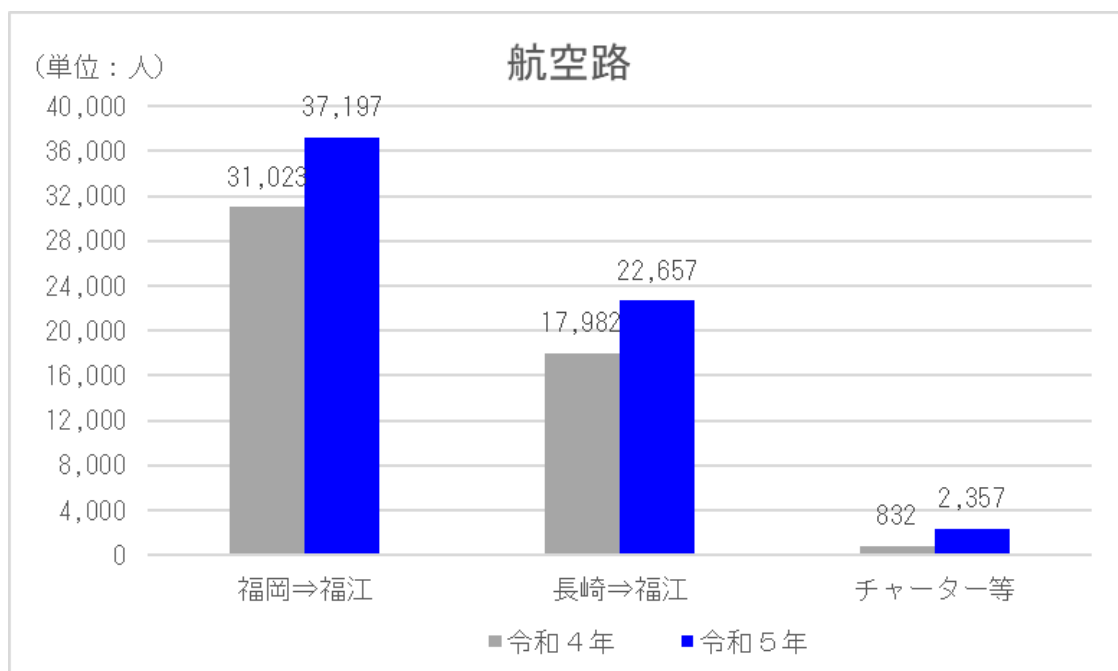
※入込客数 = 五島市の港・空港における総降客数（ただし、市内航路分を除く。）

－ うち国境離島島民割引利用者数

(1) 航空路

航空路による入込客数は次のとおりであった。

区間等	入込客数（人）		対前年比 （人／％）
	令和4年	令和5年	
福岡⇒福江	31,023	37,197	+6,174（+19.9）
長崎⇒福江	17,982	22,657	+4,675（+26.0）
チャーター等	832	2,357	+1,525（+183.3）
航空路 計	49,837	62,211	+12,374（+24.8）

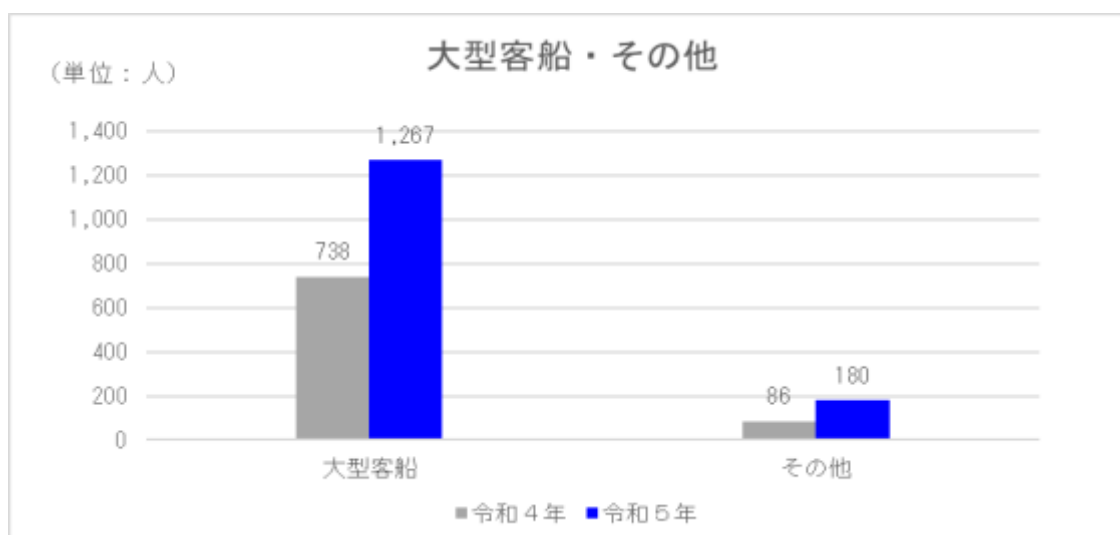
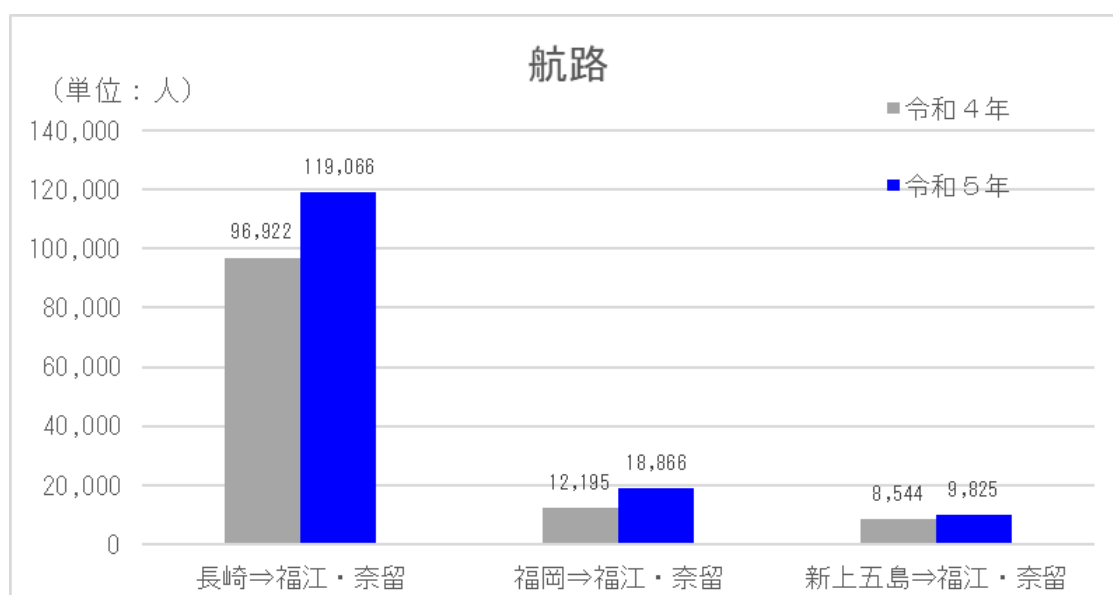


(2) 航路

航路による入込客数は次のとおりであった。

区間等	入込客数（人）		対前年 （人／％）
	令和4年	令和5年	
長崎⇒福江・奈留	96,922	119,066	+22,144（+22.8）
福岡⇒福江・奈留	12,195	18,866	+ 6,671（+54.7）
新上五島⇒福江・奈留	8,544	9,825	+ 1,281（+15.0）
大型客船	738	1,267	+ 529（+71.7）
その他 ^{（注）}	86	180	+ 94（+109.3）
航路 計	118,485	149,204	+ 30,719人（+25.9）

（注）その他は、実習船、プレジャーボート、ヨットなど



4 観光消費額

令和5年における観光消費額は93億3,948万円と推計する。

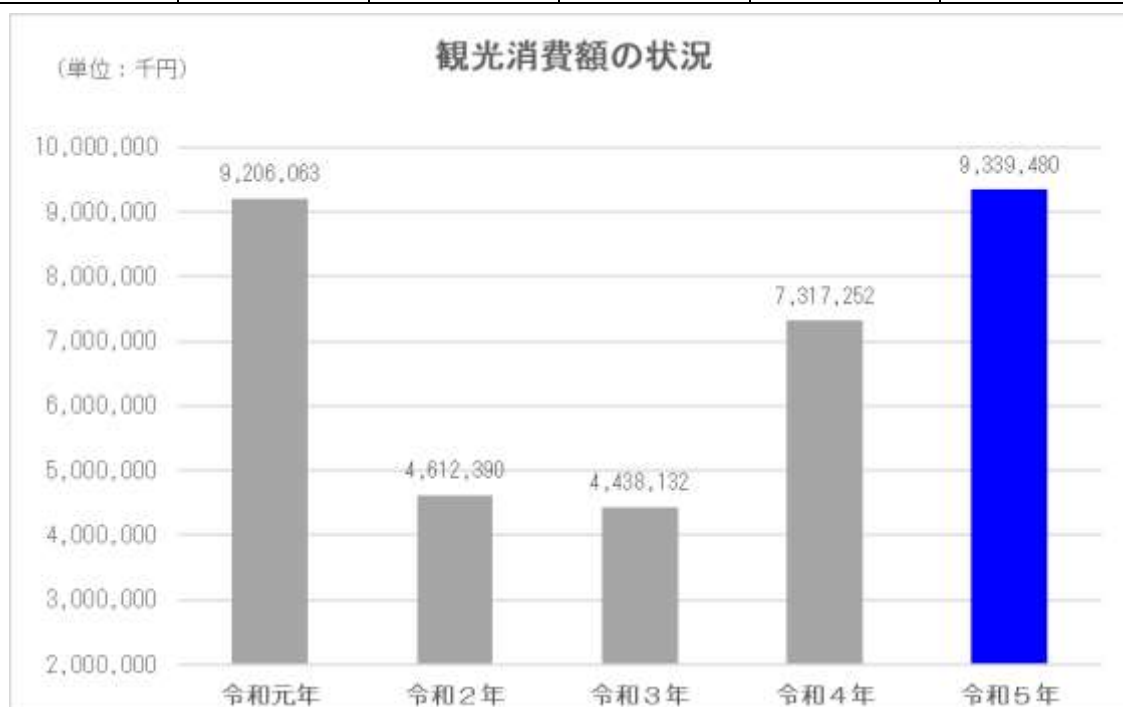
物価上昇等に伴う観光に要する費用の高騰に加え、令和5年の宿泊客実数が過去最高となったことにより、前年比で約20億2,200万円の増(+27.6%)となった。

また、令和元年の実績を約1億3,342万円(+1.4%)上回り、過去最高となった。

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
観光消費額 (千円)	9,206,063	4,612,390	4,438,132	7,317,252	9,339,480
前年比 (千円)	—	▲4,593,673	▲174,258	2,879,120	2,022,228
増減率 (%)	—	▲49.9	▲3.8	64.9	27.6

<参考>令和元年との比較

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
観光消費額 (千円)	9,206,063	4,612,390	4,438,132	7,317,252	9,339,480
増減額 (千円)	—	▲4,593,673	▲4,767,931	▲1,888,811	133,417
割合 (%)	—	50.1	48.2	79.5	101.4



5 主要観光施設・観光地の状況

下表に記した主要観光施設の来場者は、すべての施設で前年と比べ増加したとともに、多くの施設で令和元年の9割程度まで回復した。特に、山本二三美術館は開館した平成30年以降で来場者が最多となった。

海水浴場についても前年と比べ来場者が増加した。高浜海水浴場に関しては、令和元年比3,105人の増(+24.0%)と令和元年の来場者数を超えた。

ゴルフ場の来場者数は、前年から800人の減(▲4.4%)となったが、島外の来場者については、令和元年及び前年と比べ順調に増加しており、ゴルフによる観光客誘客効果が出ていると推測する。

<主要観光施設>

	来場者数(人)			増減数(人)／増減率(%)	
	令和元年	令和4年	令和5年	令和元年比	対前年比
旧五輪教会堂 (世界遺産)	20,658	12,314	18,521	▲2,137 (▲10.3)	+6,207 (+50.4)
江上天主堂 (世界遺産)	16,604	7,177	14,146	▲2,458 (▲14.8)	+6,969 (+97.1)
堂崎天主堂	39,443	27,798	38,164	▲1,279 (▲3.2)	+10,366 (+37.3)
五島観光歴史資料館	14,470	9,697	14,260	▲210 (▲1.4)	+4,563 (+47.1)
山本二三美術館	11,347	7,326	11,750	+403 (+3.6)	+4,424 (+60.4)

<主要観光地>

	来場者数(人)			増減数(人)／増減率(%)	
	令和元年	令和4年	令和5年	令和元年比	対前年比
高浜海水浴場	12,926	13,580	16,031	+3,105 (+24.0)	+2,451 (+18.0)
香珠子海水浴場	7,811	5,233	7,019	▲792 (▲10.1)	+1,786 (+34.1)
頓泊海水浴場	11,057	6,539	7,793	▲3,264 (▲29.5)	+1,254 (+19.2)
五島カントリークラブ	17,177	18,320	17,520	+343 (+2.0)	▲800 (▲4.4)
うち島外者	4,974	5,836	6,156	+1,182 (+23.8)	+320 (+5.5)

6 宿泊客等

(1) 宿泊の状況（全体）

令和5年の五島市の宿泊客（実数）は143,236人で、前年と比べて23,888人の増（+20.0%）となり、令和元年の実績を超え、過去最高となった。

延べ宿泊客数も、前年と比べて24,739人の増（+12.2%）となり、宿泊客実数とともに、過去最高の実績となった。宿泊施設数の増加による観光客受入体制の充実が主な要因であると推測する。

平均宿泊数は、1.59泊となり、前年と比べて0.11泊の減（▲6.5%）となった。令和4年は鏡瀬ビジターセンターや市立図書館の建設工事に伴う工事関係者の連泊により、平均宿泊数が延びており、令和5年はその反動で平均宿泊数が前年と比べ減少したと推測する。

	令和元年	令和4年	令和5年	増減数(人)／増減率(%)	
				令和元年比	対前年比
宿泊施設数 (施設) (注)	88	105	122	+34 (+38.6)	+17 (+16.2)
宿泊客実数 (人) ①	130,184	119,348	143,236	+13,052 (+10.0)	+23,888 (+20.0)
延べ宿泊客数 (人泊) ②	202,098	202,489	227,228	+25,130 (+12.4)	+24,739 (+12.2)
平均宿泊数 (泊) ②/①	1.55	1.70	1.59	+0.04 (+2.6)	▲0.11 (▲6.5)

(注) 宿泊施設数は長崎県提供資料に基づく。(各年4月1日時点)

(2) 修学旅行

修学旅行の受入については、令和元年比17校の減（▲48.6%）と5割程度回復した。体験民泊を利用した校数の割合は、全体の約72.2%（令和元年：80.0%）であり、令和元年の水準に近付いている。

	令和元年	令和4年	令和5年	増減数(人)／増減率(%)	
				令和元年比	対前年比
学校数(校) ①	35	6	18	▲17 (▲48.6)	+12 (+200)
うち体験民泊(校) ②	28	0	13	▲15 (▲53.6)	+13 (皆増)
体験民泊利用率(%) ②/①	80.0	0.0	72.2	—	—
児童・生徒数(人)	5,337	298	1,674	▲3,663 (▲68.6)	+1,376 (+461.7)
うち体験民泊(人)	4,133	0	1,420	▲2,713 (▲65.6)	+1420 (皆増)

(3) インバウンド

令和5年4月に国の水際措置が撤廃されて以降、本市への来島者も急回復を遂げ、外国人延べ宿泊客数は、令和元年比で107人泊の増(+3.1%)で過去最高となった。平均宿泊数も、令和元年比0.14泊の増となり、滞在期間が延びていると推測する。

国別では、令和元年と比べ、フランス、イギリス及びオセアニア地域からの来島が、+200%以上の増加となった。欧米豪の旅行者が増加した背景として、ラグジュアリーホテル等の本格稼働が挙げられる。

	令和元年	令和4年	令和5年	増減数(人/泊)	
				令和元年比	対前年比
外国人宿泊客実数(人)	1,567	264	1,516	▲51	+1,252
外国人延べ宿泊客数(人泊)	3,428	671	3,535	+107	+2,864
平均宿泊数(泊)	2.19	2.54	2.33	+0.14	▲0.21

(国・地域別)

国・地域	令和元年		令和5年		対令和元年増減率	
	延べ数 (人泊)	実数 (人)	延べ数 (人泊)	実数 (人)	延べ数	実数
アジア	2,708	1,131	2,361	1,008	▲12.8%	▲10.9%
韓国	836	555	697	576	▲16.6%	3.8%
中国	172	87	170	93	▲1.2%	6.9%
台湾	973	197	925	161	▲4.9%	▲18.3%
香港	586	215	361	86	▲38.4%	▲60.0%
その他	141	77	208	92	47.5%	19.5%
ヨーロッパ	259	156	583	243	125.1%	55.8%
フランス	67	45	257	115	283.6%	155.6%
イギリス	22	16	93	36	322.7%	125.0%
ドイツ	86	55	80	32	▲7.0%	▲41.8%
その他	84	40	153	60	82.1%	50.0%
北アメリカ	202	132	400	174	98.0%	31.8%
アメリカ	192	126	355	148	84.9%	17.5%
その他	10	6	45	26	350.0%	333.3%
オセアニア	34	19	142	68	317.6%	257.9%
その他の国・地域	3	3	39	15	1200.0%	400.0%
国籍不明	222	126	10	8	▲95.5%	▲93.7%
合計	3,428	1,567	3,535	1,516	3.1%	▲3.3%

五島市年次別観光入込客数

	H24年 (2012年)	H25年 (2013年)	H26年 (2014年)	H27年 (2015年)	H28年 (2016年)	H29年 (2017年)	H30年 (2018年)	R元年 (2019年)	R2年 (2020年)	R3年 (2021年)	①	②	前年比 (②/①)	R5年月別 構成比
											R4年 (2022年)	R5年 (2023年)		
1月	10,329	9,949	10,387	10,028	9,074	10,513	13,072	14,749	12,464	3,698	7,866	10,463	133.0%	5.0%
2月	11,855	11,034	11,431	11,143	10,872	10,771	13,561	14,705	13,408	4,739	5,285	12,671	239.8%	6.0%
3月	16,452	15,377	16,650	16,952	18,073	16,790	17,479	19,898	11,049	9,357	10,967	17,878	163.0%	8.5%
4月	13,675	13,025	13,247	13,946	13,621	14,276	16,824	21,900	3,709	8,640	11,828	15,678	132.5%	7.5%
5月	16,763	17,215	18,080	18,932	16,845	20,100	20,463	25,076	2,807	6,484	15,661	20,833	133.0%	9.9%
6月	11,507	12,275	13,414	14,032	11,538	12,890	16,713	18,535	6,383	6,718	12,005	14,282	119.0%	6.8%
7月	21,505	21,940	24,327	20,785	23,016	23,707	22,055	22,397	9,682	14,313	16,985	19,324	113.8%	9.2%
8月	37,353	37,754	36,613	41,268	40,300	40,187	37,727	36,384	10,626	12,456	23,319	28,192	120.9%	13.4%
9月	11,199	12,568	14,344	16,032	12,847	13,655	19,923	19,468	10,347	7,387	12,253	17,161	140.1%	8.2%
10月	16,458	15,790	15,849	17,774	19,383	17,921	21,137	20,938	13,818	12,859	16,435	20,033	121.9%	9.5%
11月	14,972	16,983	16,207	16,106	16,372	17,844	21,288	21,061	17,346	15,615	18,080	18,206	100.7%	8.7%
12月	13,356	14,534	13,216	14,318	14,614	14,717	19,889	17,546	12,064	16,175	16,295	15,346	94.2%	7.3%
計	195,424	198,444	203,765	211,316	206,555	213,371	240,131	252,657	123,703	118,441	166,979	210,067	125.8%	100.0%

対前年 増減	▲12,745	3,020	5,321	7,551	▲4,761	6,816	26,760	12,526	▲128,954	▲5,262	48,538	43,088
対前年 比	▲6.1%	1.5%	2.7%	3.7%	▲2.3%	3.3%	12.5%	5.2%	▲51.0%	▲4.3%	41.0%	25.8%